

2021年度 学校関係者評価報告書

学校法人森ノ宮医療学園
森ノ宮医療学園専門学校
自己点検・評価委員会
学校関係者評価専門部会委員会

学校法人森ノ宮医療学園 森ノ宮医療学園専門学校 自己点検・評価委員会 学校関係者評価専門部会委員会は、2020年度自己点検・自己評価報告書に基づき、以下のとおり学校関係者評価を実施いたしました。

1. 学校関係者評価専門部会委員（「森ノ宮医療学園専門学校 学校関係者評価に関する自己点検・評価委員会規程施行細則」による選出区分）

- ・鍼灸師または柔道整復師関連団体役員（同施行細則第4条第1項第2号）
 - 廣野 敏明 氏（公益社団法人大阪府鍼灸マッサージ師会会長）
 - 川口 靖夫 氏（公益社団法人大阪府柔道整復師会副会長）
- ・本校卒業生（同施行細則第4条第1項第3号）
 - 赤丸 敏行 氏（森ノ宮医療学園専門学校卒業生）
- ・本校に在籍もしくは卒業した学生の保護者または保証人（同施行細則第4条第1項第4号）
 - 浜田 暁 氏（森ノ宮医療学園校友会会長）
- ・高等学校校長または高等学校校長経験者（同施行細則第4条第1項第5号）
 - 上條 藤夫 氏（元大阪府立高等学校校長）

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

- 開催日時：2022年3月21日（月・祝）13時00分～14時20分
- 開催場所：森ノ宮医療学園専門学校 理事長室
- 出席委員：廣野敏明、川口靖夫、赤丸敏行、浜田暁、上條藤夫
- 欠席委員：なし
- 陪席者：清水尚道（校長）、松下美穂（教務部長）、由良拓巳（教務課長）、
矢納秀司（学務課長）

《基準1 教育理念・目的・育成人材等》評価結果：適切である。

《基準2 学校運営》評価結果：適切である。

- ・中期経営計画に則って運営しているのは良い事だ。
- ・グループウェアや電子決裁システムの導入等、システム化は進んでいる方ではないか。

《基準3 教育活動（鍼灸学科）》評価結果：適切である。

- ・2020年度はコロナ禍1年目という事もあり、例年通りできなかったことも多かったのではないかと。
- ・学生アンケートに加えて、教職員の授業見学やリフレクションペーパーの実施はよいことだと思う。
- ・今後、計画的な若手教員の新規採用にも期待したい。
- ・実技授業の充実は全国でもトップクラスではないかと。
- ・オンライン授業を活用すれば課外ゼミを充実できるのではないかと。
- ・ほとんどの学生は対面授業の良さを再認識しているようだが、オンライン授業を希望している学生も一定数いるようだ。

《基準3 教育活動（柔道整復学科）》評価結果：適切である。

- ・現行カリキュラムの問題点を抽出して、2022年度からの新しい教育課程に反映していただきたい。
- ・柔道整復学科についても、教員の新規採用を計画的に行って欲しい。
- ・国家試験へのさらなる対応が必要であろう。
- ・動画授業を教員自身が視聴することで新たな発見があるのではないかと。
- ・在学中にいかに業界への興味を持てるかが大切だ。それにより資格取得への情熱も保てるのではないかと。
- ・学生アンケートの結果をできるだけ授業に活かして欲しい。

《基準4 教育成果》評価結果：適切である。

- ・就職活動についても国家試験と同様に3年間かけて取り組んでいくものではないかと。

《基準5 学生支援》評価結果：適切である。

- ・修学支援制度を価値あるものとするような指導を行って欲しい。
- ・難しい環境下ではあるが、クラブ活動等の課外活動の活性化をお願いしたい。

《基準6 教育環境》評価結果：適切である。

- ・感染拡大防止対策はきちんできているのではないかと。
- ・すべての教室に動画撮影用のビデオを設置しているのは良い事だ。
- ・対面授業を基本としてオンライン授業を活用するのが良いのではないかと。

《基準7 学生の募集と受け入れ》評価結果：適切である。

《基準8 財務》評価結果：適切である。

- ・学園全体としてはバランスのとれた収支ではないかと。

《基準9 法令等の遵守》評価結果：適切である。

《基準 10 社会貢献》評価結果：適切である。

以上